



石狩浜の「無辜の民」

ハナスに覆われた石狩浜にコンクリートの台座とその上に置かれた巨大なブロンズ像。「無辜の民 石狩」と名づけられた一見異様なこの像は札幌出身の彫刻家本郷新（1905年～1980年）が制作したものです。

1978年に北海道文化賞を受賞した本郷氏はそのお礼として北海道にブロンズ像「無辜の民」を寄贈し、その設置場所として石狩浜を熱望しました。北海道はブロンズ像を石狩町に寄託することになりましたが、石狩町では諸事情から台座などの費用が準備できず、計画は一向に進まなくなりしました。その時、石狩町ライオンズクラブを中心に町民有志により「ブロンズ像設置期成会」が結成され、二千万円を超える募金が集められました。そして1981年6月30日、ブロンズ像は本郷氏が望んだ石狩浜で除幕式を迎えたのです。

「無辜の民」は中東の難民から着想を得た作品で、翻弄される名も無き人々を表現しています。本郷氏には北海道の開拓をテーマにした作品がいくつもありますが、その背景には北海道の開拓はアイヌ、和人などの区別なく名も無き人々の労苦により成し遂げられた、という思いがあります。

開拓地を目指す人々が多く集まったこの石狩は北海道開拓の原点であり、人工の物が何も無い石狩浜こそ開拓の手が入る前の北海道を象徴する風景である、と本郷氏はとらえていました。だからこそ、「無辜の民」を石狩浜に置くことにこだわったのです。

北海道命名から150年の今も、ブロンズ像「無辜の民」は150年前と同じ風景の中で作者の思いを伝えています。

図文化財課 いしかり砂丘の風資料館 ☎62・3711

ERIS「いしかり博物誌」は、えりすいしかりネットテレビ(<http://www.i-eris.tv/>)でもご覧いただけます。

8/5(日)①17時～②18時～ 本郷 新「無辜の民」と石狩浜

①第一部 セレモニー

献花

本郷 新のことは朗読(本郷 弦氏)

アイヌユーカラ朗読(藤村 久和氏)

詩「石狩川」朗読(原子 修氏)

トランペット演奏(浜坂 裕樹氏)

②第二部 本郷 新「無辜の民」を語る会

場所 ①「石狩—無辜の民」慰霊碑前
※市役所から送迎バスあり
(16時30分発・17時30分発)

②Cafelounge マウニの丘
(弁天町番外地)

持ち物 ①花一輪(献花用)

費用 ②1,000円 申込期限 8/3(金)

特別展示 本郷 新「無辜の民」シリーズ

「石狩 開拓者慰霊碑」の構想のもとになった「無辜の民」シリーズ全15点を、一堂に公開(観覧無料)。

日程 7/31(火)～8/5(日)
時間 10時～(火・金曜18時、水・木曜20時、土・日曜17時まで)
場所 市民図書館(花川北7・1)

関連事業

講日	話時	「本郷 新の人と芸術」
	時	8/4(土)
		15時30分～16時30分
講師		本郷新記念 札幌彫刻美術館 学芸員 山田 のぞみ氏
費用		無料
場所		市民図書館(花川北7・1)



本郷 新「無辜の民 砂漠の女」1970年

申込・問合せ NPO法人石狩市文化協会 ☎75・1288